

コロナに負けない！見守り・支え合いのカタチ ～Withコロナ時代の活動のヒントは地域にあった～

■つながりを切らない地域の工夫を映像にしました。

新型コロナウイルスの影響により、地域では人が集まる機会が減っています。そんな中「今まで通りには集えないけど…」と悩みながらも、感染症対策をして、“つながりを切らない”取り組みをされているところがあります。

そんな工夫やアイデアが詰まった地域の取り組みを、映像にまとめました。



<映像が見られる2次元コードです>

日ごろから培われたつながりがあったから、コロナ渦でも気にかけて合ったり、見守り合うことにつながっているんですね。

そんな地域にある集いの場は、地域の宝物です。この大切さを地域全体に広げていき「集うっていいね」と言える地域づくりを進めていきましょう。

この映像が、みなさんの活動のヒントになれば幸いです。

コロナ禍の工夫 集まれなくても、見守り合える！

手作りマスクをお裾分け ～エピソード～
今崎町（中野地区）に住む、80歳代ひとり暮らしの女性のお話。
家にいる時間が増えたので、**縫物などが好きだった**ことから、マスクづくりをはじめられました。
手作りのマスクを「病院行くのにいるやる。使ってな」と近所の高齢者にお裾分けされました。



工夫したら、集まれる！
距離を保って介護予防体操



大塚町（蒲生地区）



サロンや集いの場について気軽にご相談ください。

ほっとするようなエピソードや、地域での工夫をぜひ教えてください！



Facebookで
地域の魅力を発信中。





コロナ禍でも「できることを」と、
活動されているグループにインタビュー！



「折り紙ボランティア おいづる」さん

地域とつながる
ボランティア

折り紙の好きな方・得意な方が集まり、地域の集いの場で「折り紙の出前講座」をされるなど、様々な活動をされています。

コロナ禍で、依頼のあった出前講座が次々とキャンセルになる中、自分たちにできることで「少しでも折り紙に親しみ、楽しんでもらいたい」と家庭で折れる“折り方キット”を発案されました。コロナ終息を願う“アマビエ”や“ヨゲンノトリ”を題材に、折り方の手順が見てわかるようになっています。市内の子ども食堂や学童保育所、お寺に寄付をし、多くの方に届けられています。

地域の様々なつどいの場が再開されはじめ、出前講座の依頼もくるようになりました。折り方キットを活用し、できるだけ3密を避ける工夫をしながら活動を進めておられます。



“ヨゲンノトリ”

❀ボランティア募集❀

年代問わず楽しみながら
できるボランティアです。
興味をもたれた方は、
ぜひ下記まで
お問い合わせください！

